

対談特集 夢のゴールデン・アベック

●兄弟やくざがやりたいネ

●鶴田浩二 ●松方弘樹

東映現代劇で活躍中の松方弘樹さんが東映京部に移籍、'61の時代劇スタアとして売り出すことになったのは、みなさんもお承知の通りです。京撮の宣伝スチール撮影に「東京新撰組」撮影の余暇を東京から駆けつけた弘(ひろ)ちゃんが、現代劇、時代劇に活躍中の鶴田浩二さんを、俳優会館三階のお部屋に訪ねて、いろいろとお話を伺いました。

大先輩の鶴田さんの前で弘ちゃんはいささか堅くなりましたが、鶴田さんの言葉をひとつひとつかみしめるようにうなずき、対談の終わった帰り途「ボクのぜんぜん気づかなかったことを、いろいろ教えて頂いてうれしかった。頑張ります」と、鶴田先輩に心から感謝していました。

まず歩き方から

鶴田 京都は専属になったの!?

松方 ええ……。

鶴田 現代劇のキミはボクもいいなアと思っていたんだ。自分で京都を希望したの!?

松方 会社からのお話なんです。ボクもいつかは京都で時代劇をやりたいという希望はあったんですけど、こんなに早いとは思わなかった。(笑)

鶴田 映画に入って何年!?

松方 まだ何年なんて。(笑)九ヵ月です。

鶴田 何本出た!?

松方 8本です。

鶴田 それじゃもう素人じゃないよ。(笑)東映の方針は“常に新しく若かれ、”というのだからキミたちが京郎へ来るということは新しい仲間がふえるということなんで、オレはうれしいよ。

松方 現代劇に出ていたことはボクにとって、よかったと思います。カメラに馴れたということだけでも……。

鶴田 それにオヤジさん(近衛十四郎さん)がついていることが、どんなに恵まれているかしのれないよ……。オレなんかデビューした時には、誰も教えてくれるひとなんかいなかったもの……。

松方 でも時代劇にはいろいろと約束ごとがあるし……。

鶴田 そう、ワクがある。あるていどはくずせるけれど、ワクの外にハミ出すことは出ない。歩き方一つでも町人、武士、やくざ、岡っ引とみんな違うんだ。肩の動き、腰のキレ方、足のはこびなどね、後姿でそれを出すようになるまでは大変だ。歩きが一人前に出来たら、立派な時代劇スタアだ。殺陣も必要条件の一つだけだね。

松方 殺陣はこれから一生懸命やります。

鶴田 剣会の人たちが練習しているだろう、その中で、自分の匂いというか、自分の身体に合ったひとを探してね、基本からそのひとにガッチリと教えてもらうんだ、オレなんか自己流だから、時々、逆足を出しちゃうけれどね。(笑)

松方 父に教えてくれるのを待たないで、どんどんほかのかたのいいところを自分で吸収しなければいけないといわれています。

映画はたくさん見ろ

鶴田 その通りだ。殺陣だけじゃないよ、それは……。それにはまずサンプルをみつけ出すことだ。日本映画ばかりじゃない。外国映画を出来るだけたくさん見ることが、何よりの勉強だね。

松方 いままでは現代劇だから日活作品をずいぶん見ていたんですけど……。

鶴田 食欲に映画をみるんだ。格闘シーンだって、ずいぶんいいサンプルがあるよ、けどそれをそのまま真似をしてもダメなんだ。ヒントを得て自分で工夫しなければ……。

松方 でも、時代劇ははじめてだし、ちょっと心配です。

鶴田 誰でも最初は苦しむのだよ。こわがることはないさ、自信を持つんだよ。のぼせてはいけないけど自信を持つことから未知の世界が拓けてくるのだからね。

松方 まだまだたくさん勉強することはあるし、着物の着方とか……。

鶴田 カツラとか衣装はね、自分でやらなくても、ちゃんと面倒をみってくれるひとがいるから心配はいらない、それからのことだよ勉強するのは……。

ヒマな時は銀ブラを

鶴田 さっきからみていたんだけど、ほんとにボクに似ているなアキミは……。この間、キミの時代劇のスチール、あれなんだっけ!?

松方 「坊ちゃん野郎勢ぞろい」のテレビ・シーンです。

鶴田 それをウチの女房がみていてね、オレのデビュー作「遊侠の群れ」のスチールと並べて「似ている、似ている」といってたんだ。

松方 光栄です。(笑)

鶴田 オレに似ているので京都へ、来させられたのかな。(笑)

松方 中学生のとき、「獄門帖」で、鶴田さんの子供時代で出演したことがあるんです。

鶴田 そうだってね、さっききいて驚いたんだけど、ぜんぜん記憶にないんだ。きっと忙しいのでカッカとしていた時かもしれない。(笑) 歌もやるんだって……。!?

松方 上原げんと先生に教えていただいています。映画で歌うことになると思いますけど、やっぱり民謡調のものの方がいいのですか!?

鶴田 別にそんなことはないよ、自分の魅力を生かせばいいと思うな。ミュージカルなんかやりたいだろう!?

松方 ええ、時代劇のミュージカルが、いつかやれたらと夢んでいます。

鶴田 それよりオレと二人で兄弟役が出来るな。兄弟劇というのはなかなかむずかしいけれど……。格闘シーンを入れてさ……。股旅ものでもいいし……。

(松方さんはちょっとテレています)

鶴田 テレるなよ……。話は違うけれど、演技してて自分で決してテレちゃ駄目だよ、自分でテレてるときは、必ず見ているお客さんもテレるから……。

松方 でもラブ・シーンは苦手です。

鶴田 ウーン、あれはオレも苦手だ。(笑) だけど時代劇では接吻(キス)シーンがほとんどないからね、のびのびとやることだ。

松方 鶴田さんは現代劇と時代劇に出演されて、ちょっとうらやましいです。

鶴田 東京は好きかい!?

松方 いいですね。

鶴田 東京と京都というのは地理的条件が違うし、言葉や文字では表現できないけれど、東京の空気に触れるということが、時代の流れを吸収することになるんだよ。キミも忙しくなると思うけど、努めてヒマを見ては東京へ出て銀座でも歩くんだ。時代劇の俳優であっても、中身は現代人なんだから取残されないようにね。

松方 ボクもなんとなくカンじていました。いい意味での刺激が東京にはあるし……。

隣り組のよしみに!?

松方 でもやっぱり心配だなァ時代劇って……。まだ馬や日本舞踊も練習しなければいけないし……。

鶴田 そんなひっこみ思案じゃダメだよ。思いきってやってみることだ。時代劇のワクの中で松方流に頑張るんだ。

松方 なんか、鶴田さんのお話をきいているうちに、元気が湧いてきました。

鶴田 ところでコンビの女優さんは決ったの!?

松方 まだです。

鶴田 どんなタイプの女優さんがいいと思う!?

松方 どっちかというとおきゃんなひとがいいです。

鶴田 素敵な相手役が決まるといいネ。なんか、今夜はさっぱり対談にならなかったナ、キミがあんまり喋らないし……。オレの独演会みたいだ……。 (笑)

松方 いろいろと有難うございました。部屋も近くに決ったので、よろしくお願いします。

(鶴田さんの隣が里見浩太郎さん、その隣が弘ちゃんと北大路欣也さんのお部屋です)

鶴田 隣り組だからこちらもよろしくたのむよ。

松方 また来てもいいですか!?

鶴田 いつでも遊びにおいでよ、オレたちは新しい仲間じゃないか……。